

県政情報発信中！

テレビ番組 (テレビ和歌山)

きのくに21

毎週日曜9:30・[再]18:00

県民チャンネル

毎週月・火・木・金・土曜21:55

マンスリー県政 ニュースワイド

毎月最終金曜20:30

ラジオ番組 (和歌山放送)

ラジオお届け！県政最前線

毎週火曜15:45

県庁だより

毎日11:40・[再]月～金曜18:00

SNS



X



LINE



Facebook



Instagram



YouTube

県民の友読者プレゼント！

こだわりミニトマト詰め合わせ

紀州黒潮の豊かな自然環境と水分を抑える独特な栽培方法で、他の地域に無いコクのある味わいをはぐくみました。甘さと酸味の絶妙なバランスと風味が自慢です。



こだわり弁慶 ☎0739-22-2340

写真はイメージです

抽選で10名様にプレゼント！

2月20日(金) <消印有効>までに住所、氏名、年齢、電話番号、商品名、県民の友への感想を記入し、ハガキで〒640-8585 (住所不要) 広報課「県民の友読者プレゼント！」係へご応募ください(WEBサイトからも応募可)。



※皆さんの個人情報、個人情報の保護に関する法律に基づき適切に取り扱います。

問：広報課

☎073-441-2032 FAX073-423-9500

県民の友最新号 🔍

知事メッセージ

貴志川線 存続への 新たな挑戦



貴志川線は、和歌山市と紀の川市を結ぶローカル鉄道で、地域住民の日常生活を支える交通手段として、また、「たま駅長」で有名な県を代表する観光資源として、海外でも注目を集め、年間約170万人の方が利用しています。

20年前に、運行事業者の撤退により貴志川線は廃線の危機に晒されました。そこでまず、「貴志川線の未来を“つくる”会」による地道で熱心な活用促進等の活動。さらには、和歌山電鐵の参入による再生。加えて、和歌山市、紀の川市及び県による鉄道施設の修繕への支援などにより最近まで運行を行ってきたところです。

コロナ禍以降、近年は通勤・通学利用者の減少に加え、物価高による運営費の増大などにより、和歌山電鐵の経営は厳しい状況となっています。そういった中、今後も地域住民の生活交通を守る必要があります。そこで、列車の運行(上)は鉄道事業者が行い、線路や駅舎といった鉄道施設(下)は自治体が保有・管理する「上下分離方式」への移行をめざし、和歌山電鐵、和歌山市、紀の川市及び県の4者で協議を開始しました。

「上下分離方式」により鉄道事業者は安全運行に専念することが可能となり、民間の発想でサービス向上や観光誘客などをより一層充実することが出来ます。貴志川線を単に残すのではなく、貴志川線を活かした沿線のまちづくりに寄与されることを期待しています。また、皆様方にも「乗って残そう」の思いを持ち続け、日々の生活のなかで積極的に鉄道を利用していただきたいと思います。

地域、事業者、行政が一体となった貴志川線存続への新たな挑戦が始まります。

和歌山県知事 宮崎 泉



総合
評価値 97

・古紙パルプ配合率 70%
・塗工量 30g/m以下



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。